

花と緑の農芸財団×イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム



〔本プログラムの主旨〕

収穫や苗の植え付けなどの一側面に限らず、畑の管理なども含めた農作業を体験することで、農業についての理解を深めることを目的に実施。

加えて植物の仕組みや、農業と環境との関わりなどについても学ぶ機会を設け、1プログラムあたり3～4回のカリキュラムで開催。

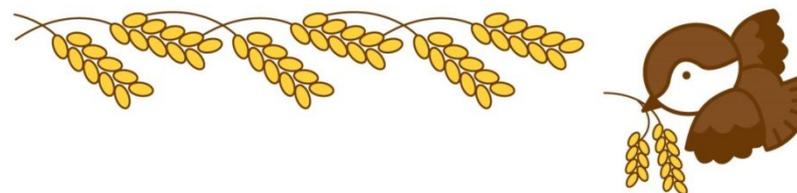


〔プログラムの特徴〕

3～4回のカリキュラムには、基本的に同じクラブ・同じメンバーが継続して参加。一貫して農業について学ぶことができる継続型・学習プログラム。

ファーマーズプログラム実施内容

参加クラブ
市川妙典、鎌取、成田



日付	実施プログラムの内容
5/13(土)	イネ(品種:コシヒカリ)の定植 イネとリサイクルについての学習
6/25(日)	前回の復習 田んぼでイネの生長観察 農家さんの籾殻を使った堆肥づくり見学と 堆肥のリサイクルについての学習 農家さんの自宅見学(農機具等を見せていただく)
9/9(土)	稲刈り体験 これまでの3回のプログラムのふりかえり・まとめ アクションプラン宣言

5/13の活動風景①



スタッフの方から田植えをする
イネについてご説明いただきました



あいにくの空模様でしたが、
レインウェアを着て田植えをしました



田植えのやり方を教えていただき、
みんなで力を合わせ一列植えました



近所の農家の方にご協力いただき、
田植え機での作業を見学しました

5/13の活動風景②



昼食の後は田植えをしたイネとリサイクルについての学習をしました



分からないところや聞きたいところはスタッフの方に質問をします



今回のプログラムで学んだことを一生懸命メモとして書くメンバー達



プログラムの最後に全員で記念撮影

6/25の活動風景①



前回(5/13)の内容を復習してから、今日やることをご説明いただきました



イネの生長の仕組み(分けつ)について、教えていただきました



茎の数、背の高さ、葉の色を調べ、スケッチもシートに記入していきます



すくすく順調に育っているイネの前でみんなで記念撮影！

6/25の活動風景②



粃殻に米ヌカ等を加え、発酵させて堆肥にする過程を説明いただきます



発酵中の熱を出している堆肥に触れ、堆肥のリサイクルについて学びます



先程の堆肥を使って栽培されているキュウリを見せていただきました



農家さんのご自宅にあった手押し式の田植え機も見せていただきました

9/9の活動風景①



前回(6/25)の内容を復習してから、
稲刈りの仕方を説明いただきました



田んぼへ移動し、まず農家さんに
稲刈りの見本を見せていただきます



一人ずつ鋸鎌を持って、一株ずつ
丁寧にみんなで刈っていきました



刈った稲は左右交互になるよう
束ねて、藁できつく縛ります

9/9の活動風景②



はざ掛けまで終わった田んぼで
全員で記念撮影です！



最後に農家さんのコンバインを
使った収穫風景を見学しました



プログラムで学んだこと、これからの
アクションプランを皆で発表しました



最後に船津専務理事よりひとりずつ、
修了証を授与いただきました



**公益財団法人 花と緑の農芸財団の皆さん、
芝山町の農家さん達のご協力のもと、5月13日
の田植えから始まったファーマーズプログラム。
全3回の開催にあたり、様々な形でご協力いた
だいた皆様のおかげで、ひとつのプログラムと
して完結出来たこと、改めて御礼申し上げます。
本当にありがとうございました。**